

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願ひ

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

|   |
|---|
| 気管支喘息急性増悪における mPIS の有用性について   |
| <b>1. 研究の対象および研究対象期間</b><br>2012年8月から2015年12月まで小児科に気管支喘息にて入院した患者  |
| <b>2. 研究目的・方法</b><br>気管支喘息急性増悪において、重症度を質的評価する方法で定まっているものはありません。Modified pulmonary index score (mPIS) は重症度の量的評価法として提唱され、一定の評価を得ていますが、治療指針の有用性を評価した報告はありません。そこで、本研究では、小児科病棟に気管支喘息で入院した患者において、mPIS 前後での入院期間及び治療期間に変化があったかを比較し、mPIS の治療指針としての有用性の評価を目的とし検討する事としました。<br><b>研究期間</b><br>『医学部人を対象とする研究等に関する倫理委員会』承認後、昭和大学医学部長の研究実施許可を得てから2018年3月まで   |
| <b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b><br>気管支喘息に関する情報（バイタルサイン、重症度、症状、投与薬物、投与日数）、患者背景（年齢、性別、診断病名、既往歴、現病歴、）   |
| <b>4. お問い合わせ先</b><br>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。<br>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。<br>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。<br>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：<br>所属： 昭和大学病院（医学部小児科学講座）      研究責任者：岡田 祐樹<br>住所： 〒142-0064 東京都品川区旗の台1-5-8      電話番号：03-3784-8565 |